

2025年  
令和7年10月1日発行

秋号

北海道観光レポート

Hokkaido Tourism Organization



上富良野町 十勝岳温泉



東川町 姿見の池



北宗谷 バードウォッチング



斜里町 天まで続く道

- 4～6月の訪日外国人延べ宿泊数、堅調に推移も国別動向を注視
- 7月の来道者輸送実績、過去最高を記録

トピックス

令和7年度 通常総会・交流会を開催

新ダイヤモンド会員の紹介【株式会社北海道イエロースターズ様】、【株式会社Wiz様】

「赤れんが庁舎」がリニューアル

HOKKAIDO LOVE!



# 令和7年度 通常総会・交流会を開催しました

2025年6月23日、札幌グランドホテルにて令和7年度の通常総会を開催しました。当日は214名の会員の皆さまにご出席いただき、各種議案の承認・今後の計画についてご説明しました。総会の後には交流会も行われ、154名の方々にご参加いただきました。会員同士のつながりを深める、和やかなひとときとなりました。

今回の総会では、2025年5月23日に理事会で選任された唐神昌子氏（トーホウリゾート株式会社 代表取締役）が、新会長として初めてご挨拶いたしました。今年1月にご逝去された小金澤健司前会長の後任として、北海道観光の未来に向け、地域の魅力を活かした観光地づくりに取り組んでまいります。

## ◆新体制の発足と組織強化

同日の理事会では、組織体制の強化に向けた重要な決定も行われました。

副会長職をこれまでの3人から4人に増員し、以下の4名が副会長に就任しました。

- ・平島誉久氏（互信ホールディングス株式会社 ……代表取締役社長）【再任】
- ・清水伸一氏（株式会社日本旅行北海道 ……代表取締役社長）【再任】
- ・猪又將哲氏（株式会社ファイバーゲート ……代表取締役社長執行役員）【新任】
- ・林雅子氏（北海道旅客鉄道株式会社 ……執行役員開発事業本部長）【新任】

また、会長のほかに副会長の1人を代表理事とする定款変更が行われ、平島誉久氏が代表理事に就任しました。

さらに、部会体制も見直され、新たに「観光インフラ部会」が追加され、4部会体制となりました。新体制のもと、観光業界の基盤整備や人材確保、インフラ課題への対応をより強化していく方針です。



## ◆地方発展なくして観光業の発展なし

唐神会長は、北海道の観光業に長年携わってきた自身の経験を踏まえ、「地方の発展なくして観光事業者の発展はない」という理念を強調。北海道の多様な自然、文化、人々の魅力を再認識し、都市観光と地方観光の連携による“オール北海道観光”の推進を掲げました。

札幌をはじめとする都市観光の強化と、地方への誘客分散を図ることで、北海道全体の観光力を底上げする戦略を提示。観光の多様性と地域資源の活用が、今後の成長の鍵であると語りました。

## ◆観光業界の「密度」を高める

唐神会長はまた、観光業界の「密度」を高めることの重要性にも言及。リーマンショック、震災、コロナ禍など幾度もの危機を乗り越えてきた北海道観光業界の回復力を評価しつつ、今後の成長には有事への備えと迅速な回復が不可欠であると述べました。

2024年の観光消費額は1兆5900億円と、コロナ前の水準を超える回復を見せており、インバウンドも2019年比125%まで回復。この流れを止めることなく、2030年に向けた目標（観光消費額3兆円、観光客数6500万人など）の達成を目指す姿勢を明確にしました。

## ◆若者が夢を持てる業界へ

人材確保の面でも、観光業界を「夢のある業界」として若者に認識してもらうことが重要であるとし、観光インフラ部会の新設を通じて、宿泊業界、運輸業界、経済団体との連携を強化。観光業界全体の基盤強化を図る方針です。

唐神会長は、「多少のアクシデントを跳ねのける、密度の濃い強固なシステムを構築することが、北海道経済の一翼を担う観光業界の使命」と力強く語りました。

## 唐神新会長インタビュー

令和7年度通常総会後、唐神新会長、副会長による記者との質疑応答が行われました。北海道観光の未来に向けた具体的な施策や課題への考え方を伝えました。



### ◆観光機構の組織像について

**質問：**観光機構をどういう組織にしていきたいか。

**回答：**「副会長を3人から4人に増やしました。これから力を入れようと思っているデータ分析や2次交通、人材不足対策など、北海道観光の未来を考えた組織改革を進めたいと考えています。」※この後、副会長4名による所信表明が行われました。

### ◆観光客の分散について

**質問：**観光客の分散についてどう考えますか。

**回答：**「都市部に観光客が集中しているのは事実です。複数泊として2泊目、3泊目にポテンシャルを秘めた地域に行ってもらい、北海道の多様な魅力を満喫していただくことが大事です。現在、海外路線の8割が新千歳空港に集中しており、地方空港への海外路線誘致が重要です。」

### ◆宿泊税についての見解

**質問：**北海道の宿泊税を巡る動きを、どう見えていますか。

**回答：**「観光インフラ整備や環境保全、プロモーション、地域振興のためには財源確保が必須です。宿泊税による財源確保ができれば嬉しいことです。一番大事なのは危機や災害時の備え。風評被害を含め、早期復旧のために観光誘客に使える基金に積み上げていきたい。道庁にもお願いしていますし、皆さまにも広くアナウンスしていきたいです。」

### ◆十勝の観光可能性について

**質問：**十勝の観光可能性についてどう考えるか。

**回答：**「先日、海外便が就航したこともあり、非常に注目しています。昨年6月に国立公園に指定された日高山脈襟裳十勝国立公園は、体験重視の観光素材として大きな潜在力があります。特に多言語ガイドの整備が重要です。大樹町には教育旅行を含めた宇宙開発の観光可能性も感じています。さらに、十勝の魅力の一つは食。2027年開催予定の和牛品評会はPRの絶好の機会です。」



鈴木知事(交流会にて)



大西特別顧問(交流会にて)



猪又副会長

平島副会長

唐神会長

清水副会長

林副会長

## ◆オーバーツーリズムへの対応

**質問：**オーバーツーリズムをどう考えますか。

**回答：**「一定のオーバーツーリズムはあり得るかもしれませんが、それは短期的な現象です。観光従事者のアナウンスの工夫など、まだまだできることはあります。住民の皆さまの理解を得て、共存を目指していきたいと思っています。」

## ◆道内客の消費促進について

**質問：**今後の観光施策について、道内客の消費の観点から聞かせてほしい。

**回答：**「道内客の消費は一度に高額にはなりにくい傾向があります。日帰り体験消費の増加や、“普段使い宿泊”として平日に特化した割引などを検討する必要があると考えています。」

# 来道者輸送実績

2025年5-7月

- 全体の来道者数は、2025年5月は121.6万人(前年同月比+9.5%)、6月は127.2万人(同+5.5%)、7月は134.9万人(同+4.2%)であった。
- 5月、6月、7月とすべてにおいて前年同月比を上回り、過去最高の記録を更新した。
- 輸送機関別では、5-7月は一部の輸送機関で前年同月比を下回ったものの、好調を維持している。

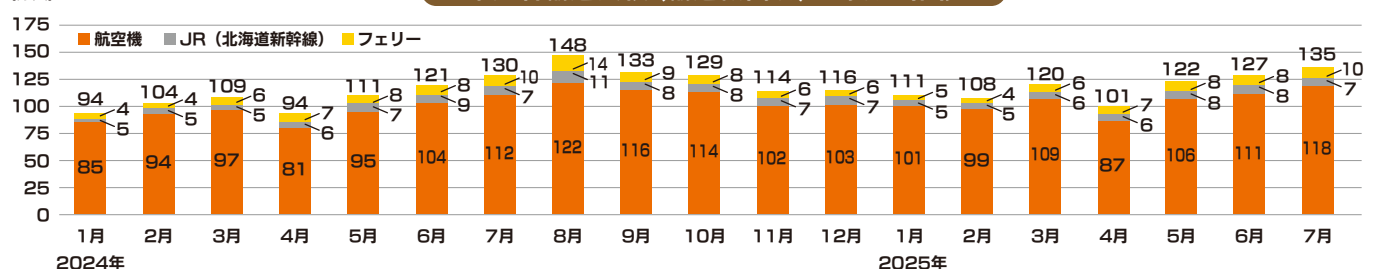
## 輸送機関別来道者数データ(2025年5-7月)

(単位:万人)

|      | 2025.5 |        | 2025.6 |       | 2025.7 |       |
|------|--------|--------|--------|-------|--------|-------|
|      | 来道者数   | 前年同月比  | 来道者数   | 前年同月比 | 来道者数   | 前年同月比 |
| 全体   | 121.6  | +9.5%  | 127.2  | +5.5% | 134.9  | +4.2% |
| 航空機  | 105.6  | +10.6% | 110.7  | +6.5% | 117.8  | +4.8% |
| JR   | 7.5    | +1.2%  | 8.0    | ▲6.3% | 7.4    | +0.4% |
| フェリー | 8.5    | +4.7%  | 8.5    | +5.3% | 9.7    | ▲0.5% |

(万人)

## 来道者輸送実績(輸送機関別) 月別の推移



出典:「HTO来道者輸送実績調査」をもとに作成

会員  
向け

輸送機関別来道者(発地別、着地別)及びインバウンド位置情報データ(人流データ)はコチラ ▶  
北海道の観光統計データ <http://statistics.visit-hokkaido.jp/>



# 北海道の延べ宿泊者数実績

2025年4-6月

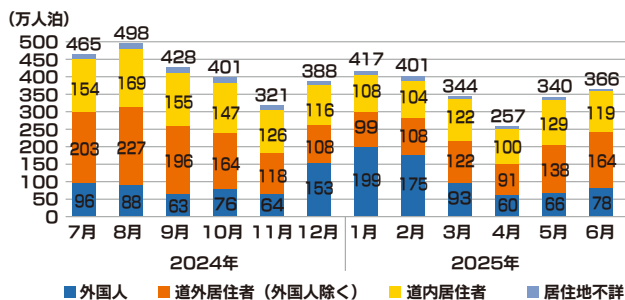
- 北海道の延べ宿泊者数(全体)は、2025年4月は257万人泊(前年同月比+1.8%)、5月は340万人泊(同+4.3%)、6月は366万人泊(同▲5.5%)であった。
- 北海道の日本人延べ宿泊者数は、2025年4月は197万人泊(前年同月比▲3.9%)、5月は274万人泊(同+1.5%)、6月は288万人泊(同▲9.3%)であった。
- 北海道の外国人延べ宿泊者数は、2025年4月は60万人泊(前年同月比+26.3%)、5月は66万人泊(同+17.8%)、6月は78万人泊(同+12.0%)であった。
- 前年対比では、延べ宿泊者数全体では、4月、5月は上回ったが、6月は前年を下回った。日本人延べ宿泊者数においては、4月と6月が前年を下回ったものの、外国人延べ宿泊者数は各月で前年を大きく上回り、日本全体においても同じ傾向がみられた。
- 市場別の延べ宿泊者数は、4-6月の合計で台湾が45.6万人泊と最も多く、次いで韓国40.6万人泊、中国18.8万人泊、シンガポール10.7万人泊、香港10.0万人泊、米国9.8万人泊、タイ8.4万人泊となった。

## 延べ宿泊者数データ(2025年4-6月第2次速報)

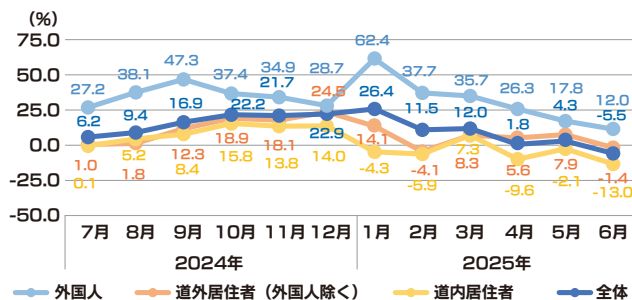
(単位:万人泊)

|     |     | 2025. 4 |        | 2025. 5 |        | 2025. 6 |        |
|-----|-----|---------|--------|---------|--------|---------|--------|
|     |     | 延べ宿泊者数  | 前年同月比  | 延べ宿泊者数  | 前年同月比  | 延べ宿泊者数  | 前年同月比  |
| 北海道 | 全体  | 257     | +1.8%  | 340     | +4.3%  | 366     | ▲5.5%  |
|     | 日本人 | 197     | ▲3.9%  | 274     | +1.5%  | 288     | ▲9.3%  |
|     | 外国人 | 60      | +26.3% | 66      | +17.8% | 78      | +12.0% |
| 全国  | 全体  | 5,305   | +1.9%  | 5,564   | +2.3%  | 4,945   | ▲2.4%  |
|     | 日本人 | 3,576   | ▲5.2%  | 3,978   | ▲2.4%  | 3,533   | ▲5.1%  |
|     | 外国人 | 1,729   | +20.4% | 1,586   | +16.7% | 1,412   | +5.3%  |

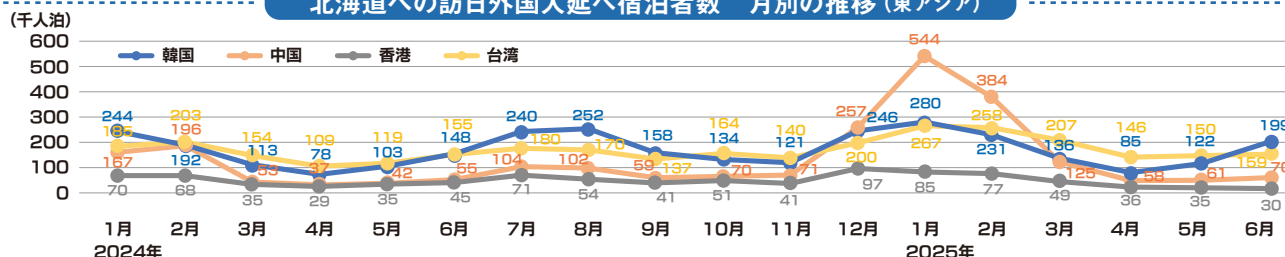
### 北海道の延べ宿泊者数 月別の推移



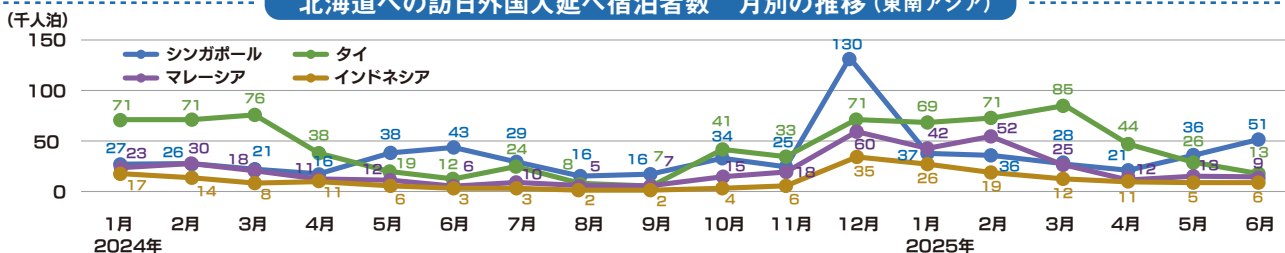
### 北海道の延べ宿泊者数 前年同月比の推移



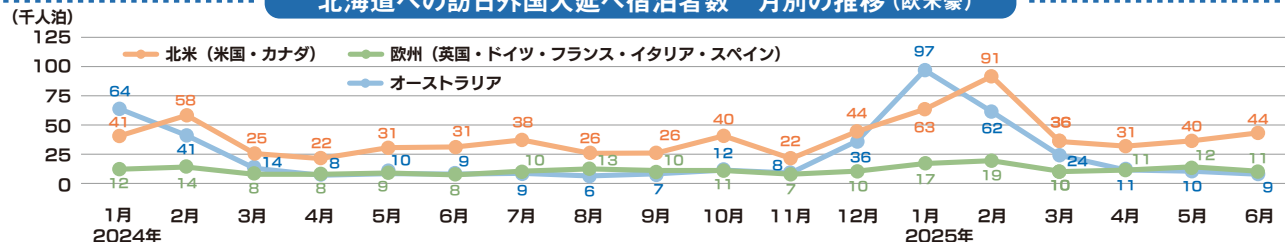
### 北海道への訪日外国人延べ宿泊者数 月別の推移(東アジア)



### 北海道への訪日外国人延べ宿泊者数 月別の推移(東南アジア)



### 北海道への訪日外国人延べ宿泊者数 月別の推移(欧米豪)



出典:「観光庁宿泊旅行統計調査」をもとに当機構作成。国別訪日外国人延べ宿泊者数の月別の推移は、延べ宿泊者数が多い国・地域を抽出。

注1: 2024年1~12月は確定値、2025年1~6月は速報値。

※各部で展開している事業の一例をご報告いたします。

### プロモーション部(国内)

#### 「兵庫県～北海道 観光PRイベント」の開催

「兵庫県～北海道 プロモーション」の一環として、7月25日(金)に兵庫県(含む大阪府)の地元メディア・旅行会社を対象に北海道観光情報交換会を開催(北海道参加10団体と兵庫参加9団体による商談会を実施)。7月26日(土)には、ららぽーと甲子園にてキュンちゃんと木古内町公式キャラクターのキーコが登場し、撮影会などのPRを実施した他、北海道参加地域が出展し、各観光地の魅力や文化を発信しました。

今後もメディアタイアップ情報発信支援事業活用PR等により、相互送客促進を図って参ります。



#### 「第3回国際ウェルネスツーリズムEXPO」に出展

昨年に引き続き、6月25日(水)～27日(金)の3日間、東京ビッグサイトにて行われたウェルネスツーリズムEXPOへ道内6団体と共に出演して参りました。

道内のケアツーリズムの取組をパネル・ポスター掲示・リーフレット等を使用しPRし、商談ブースで来場者の対応を行い、興味・関心度についてもアンケート調査を実施いたしました。来場者は、10,152名(昨年対比108%)となり関心の高さが伺えました。



### プロモーション部(海外)

#### 「北海道観光セミナーinロサンゼルス」開催

令和7年度欧米豪市場誘客促進事業(北米市場)の一環として、8月13日(水)に米国ロサンゼルスで観光セミナーを開催しました。訪日旅行を取り扱う旅行会社26社に来場いただき、商品造成に役立つ情報をお届けしました。

北海道のプレゼンの後は全日空、日本航空、プリンスホテルズより発表いただき、昼食には北海道メニューのお弁当を提供。現地旅行会社との意見交換に加え、JNTOのLA事務所や事業を委託する企業からも米国事情を伺いました。

米国では訪日旅行がトレンドであり、北海道も実績に繋がりたいところですが、米国人の来道は半数以上が冬季、宿泊も札幌やニセコ周辺に集中している状況です。今後は季節も訪問先も広がるようなPRを目指して参ります。



### 観光戦略部

#### 伴走支援型観光地域力強化推進事業における採択事業が決定しました

標記の応募案件について、厳正なる審査の結果5月26日(月)に47件が採択され、観光地づくりを通して交流人口の拡大を図り、地域経済の活性化につなげていくべく事業を実施しています。今後、SNS等を活用した情報発信支援やアドバイザー派遣を行う等、事業の成果を出せるよう伴走して参ります。

## 伴走支援型観光地域力強化推進事業(サステナブル枠)における採択事業が決定しました

標記の応募案件について、厳正なる審査の結果13件が採択され、持続可能な観光(サステナブルツーリズム)の観点から、他地域の課題解決の参考になり得るモデル的な取り組みについて、事業を実施しております。

今後については、人流データに係る情報提供やアドバイザー派遣等を実施し、事業の成果が出せるよう伴走して参ります。

なお、採択団体は以下の通りです(順不同)。

「大雪カムイミタラDMO」「美瑛町観光協会」「洞爺湖町」「摩周湖観光協会」「新冠町観光協会」「地域DMO大雪山ツアーズ」「ステイびばい」「美瑛町」「新函館北斗駅広域観光推進協議会」「鹿追町観光協会」「旭川空港利用拡大期成会」「阿寒観光協会まちづくり推進機構」「とかち観光誘致空港利用推進協議会」

## HTO 事業活動予定

2025年10月～

### プロモーション部(国内)

#### 「北海道観光情報交換会」現地開催について

当機構では、北海道の魅力発信とメディア・旅行会社との関係強化を目的に、北海道観光情報交換会を開催しています。

10月21日(火)大阪、22日(水)東京にて冬の観光コンテンツやガストロノミー、ケア・ツーリズム等をテーマに情報交換会を開催いたします。

また、春に向けた誘客促進として1月にも東京での開催を予定しております。各地域の皆様、ぜひご参加についてご検討いただけますと幸いです。

※10月開催分の参加申込は締切済です。



#### 「全国ふるさとフェア2025」に初出店！

11月1日(土)～3日(月・祝)の3日間、首都圏のプロモーションの一環として、横浜赤レンガ倉庫前広場で行われる文化放送のイベント「全国ふるさとフェア2025」へ道内5団体と共に出展いたします。道内の閑散期に向けて、冬のアクティビティや温泉、ワインや食を中心としたプロモーションの他、旅先納税の告知等首都圏のファミリー層へPRして参ります。

## HTO キャンペーンのお知らせ

### 冬のHOKKAIDO LOVE! プレゼントキャンペーン開催中! 抽選で合計400名様にプレゼント!



当機構では北海道旅行の需要喚起を目的として、北海道内乗り入れ交通事業者(航空・鉄道・フェリー)、玄関口となる道内空港、駅、フェリーターミナル等と連携し、北海道への来訪を促すプレゼントキャンペーンを実施中です。詳細は特設WEBサイトをご覧ください。

▼第一弾・第二弾共通

<https://www.visit-hokkaido.jp/fuyutabi2025-cp/>

### 層雲峡温泉で、今年も「奇跡のイルミネート」が 9月14日より開催中です!

2018年から始まった、大雪山国立公園で初のライトアップイベントは今年も始まっています。色鮮やかな紅葉のライトアップと、人の動きに連動するデジタルアートプログラムを楽しむことができます。(※HTOは、伴走支援型観光地域力強化推進事業で本イベントを支援しています)



#### 【開催概要】

- 名称: 奇跡のイルミネート8th
- 実施期間: 9月14日(日)～10月13日(月・祝)(18:00～21:00(20:30最終入場))
- 場所: 層雲峡温泉・紅葉谷・層雲峡商店街
- 詳細: 特設WEBサイト等をご覧ください。(フォトコンテストも開催)  
<https://sounkyo.net/event/illuminate/>  
[https://www.instagram.com/sounkyo\\_onsen/](https://www.instagram.com/sounkyo_onsen/)

# 株式会社北海道イエロースターズ

所在地:札幌市東区東雁来9条3丁目1-8 武田ビル8

GM  
小高 政利 様



## ■ 北海道イエロースターズについて教えてください。

北海道イエロースターズ(以下、イエロースターズ)は札幌市を本拠地とする男子プロバレーボールチームです。2025-26シーズンはVリーグ東地区に所属しています。

2016年にサフィールヴァ北海道として設立され、2023年6月より現在のチーム名となりました。

私がイエロースターズのGMに就任して、今年で5期目になります。バレーボールの選手経験はなく、元々はスポンサー側としてチームに関わっていました。

GMとして、選手編成において重視していることは、「人間性」です。また、選手に「プロ意識を持たせる」ため、プロ契約を導入することにしました。現在では選手の7~8割が完全プロ契約選手となり、これはSVリーグ※1のチームにも引けを取らない数字です。同時に、引退した選手のセカンドキャリア支援を行っています。

このようなマネジメントの結果、チームの雰囲気は非常に良くなり、戦力も充実し始め、昨シーズンは圧倒的な成績でレギュラーシーズンの東地区優勝を決めました。SVリーグへの参戦は叶いませんでしたが※2、今シーズンは主力選手の残留だけでなく、SVリーグからも3選手を獲得するなど、更なるチームの強化を図り、「絶対にSVリーグに上がる」という決意でいます。

※1 2024年秋よりこれまでのトップリーグ[V.LEAGUE]が再編され、世界最高峰を目指す「SVリーグ(1部相当)」と、地域に根差した「Vリーグ(2部相当)」という2つのリーグ体制へ移行した。

※2 SVリーグへの参入については、自動昇格はなく、また入れ替え戦は行われない規定となっていた。イエロースターズはSVリーグで戦うために必要なライセンスを取得しており、参入の可能性はあったが、SVリーグ側は偶数クラブでの編成を目指しており、2025-26シーズンは既存の10クラブすべてにライセンスが交付されたため、Vリーグ残留となった。

## ■ 取り組んでいる地域貢献活動について教えてください。

イエロースターズは、地域密着型チームとして、多くの自治体と包括連携協定を締結しています。これまでに札幌市、函館市、江別市、北広島市、沼田町、美唄市、滝上町、苫小牧市、斜里町と協定を結んでおり、今後も連携先を増やしていく方針です。

連携協定は「書面上の連携だけでは意味がない」と考えています。具体的な活動の一つとして、斜里町での合宿があります。斜里町が合宿費用を負担する代わりに、イエロースターズでは地域の子どもたちを対象としたバレーボール教室を開催しています。この教室には200人近くの子どもたちが集まり、地域で大変喜ばれています。教室では、選手が授業形式で経験を伝えるなど、バレーボールの技術だけでなく、様々なことを学べる場となるよう考えています。今後は、連携協定先の子どもたちをホームゲームに招待する計画もあります。

## ■ 今後の展望について教えてください。

北海道における「誇り」となるチームを目指しています。北海道日本ハムファイターズのように、道民が試合結果に一喜一憂し、「北海道にイエロースターズがあることが誇りだ」と思ってもらえるような存在になりたいです。

また、スポーツと観光には「大きなシナジー」があると考えています。

イエロースターズのファンには全ての遠征に帯同する人や、毎回道外からホームゲームに駆けつける人も多くいます。これらのファンは、試合の前後で道内観光を楽しんでおり、スポンサー企業の利用にも積極的であることがSNS等からうかがえます。

この状況を活かさないのはもったいないです。バレーボールのシーズンは北海道の「グリーンシーズン」と重ならないので、観光客の分散化や閑散期の観光需要創出にも貢献できます。例えば、試合観戦と宿泊、飲食、地域体験を組み合わせたパッケージプランや、チケット購入者限定の特別プランなど、観光業界と連携できることはたくさんあると思いますので、ともに協力して、より北海道を盛り上げていきたいです。



## 新規会員ご紹介

ダイヤモンド会員として7月3日付で入会されました。  
株式会社Wiz 代表取締役CEO 山崎俊様にお話を伺いました。

# 株式会社Wiz(ワイズ)

所在地:東京都豊島区南大塚2-25-15 South新大塚ビル12F

代表取締役CEO  
山崎 俊 様



## ■ 貴社の事業について教えてください。

株式会社Wiz(ワイズ)は、本社を東京に構え、北は北海道、南は沖縄まで拠点を置く、従業員約1,000名、売上高約200億円規模のIT総合商社です。若手を積極採用し、また従業員の過半数かつ役職者の46.7%を女性が占めるなど、若手と女性が活躍している会社です。

主な事業に「DX(デジタルトランスフォーメーション)」があり、売上向上や省人化を目的としたITサービス・商材の販売を手掛けています。他にも、「GX(グリーントランスフォーメーション)」「BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)」「地域支援」等を事業領域としております。創業は2012年ですが、2014年には札幌に支社を置くなど、地域との深い繋がりを重視しています。

## ■ アルテミス北海道について教えてください。

アルテミス北海道は、Vリーグに所属する女子バレーボールチームです。本年より弊社がオーナー企業となり、チームカラーも華やかなピンクへと変更し、新たな体制で再出発することとなりました。なお、弊社は鹿児島レブナイズというバスケットボールチームも保有しており、バスケットボールとバレーボール両方のプロクラブを保有する日本初の企業となります。

現在、チームの底上げを図っている段階ですが、選手のほとんどはフルタイムで仕事をしながら練習に励んでおり、真面目でコミュニケーション力の高い選手たちばかりです。

高いレベルで活躍してきた大学生の獲得も内定しており、更なる戦力強化を図っております。

## ■ 今後の展望について教えてください。

弊社は、スポーツの力、ITの力、そして地域連携の力を結集し、女性が輝き、地域全体が活性化する未来を築き上げることを目指しています。北海道においては、アルテミス北海道を中心に、観光を含め、DX、GX、AI、金融、不動産、M&A、輸出、人材など、様々な分野のハブとなることで、経済活性化の一翼を担いたいと考えています。

そのためにアルテミス北海道は、「北海道女性活躍のシンボル」となることを目指します。野球やサッカー、バスケットボールなどの男子プロスポーツチームがある中で、女子プロスポーツチームとして唯一無二の存在になり、北海道に住む全ての世代の女性に勇気と誇りを届け、「地域スポーツにおける女性スポーツのセンターピン」となりたいです。

今シーズンの目標としては、「プレーオフ進出(4位以内)」と「平均入場者数1,800名」を達成します。昨シーズンは0勝28敗、平均入場者数は250人という数字であり、ハードル感は理解していますが、ホームゲームの入場無料、SNSを活用した積極的な情報発信を通じ、まずは多くの人に足を運んでもらいたいです。



01

## 「赤れんが庁舎」がリニューアルオープン!

北海道庁旧本庁舎「赤れんが庁舎」が5年あまりの改修工事を終えて、令和7年7月25日、リニューアルオープンしました。リニューアルした庁舎は、北海道各地の魅力発信拠点として、道内179市町村の特産品などを紹介する展示室やアイヌ文化や歴史の紹介、北海道の遺産・文化の紹介など、北海道をより深く知ることができる展示空間となっております。

また、北海道の素材を使用した料理やお酒を楽しめるレストランHOUSE.Hやオリジナルのお菓子や北海道土産にピッタリなグッズを取り揃えた白い恋人 Akarenga sweets labo、赤れんがショップも新たに設けられました。

**開館時間** 8:45～21:00(最終入館20:30)

**休館日** 年末年始(12月29日～1月3日)  
設備点検日(2025年11月16日)

**入館料** 一般 300円  
大学生・高校生 200円  
中学生以下 無料

**オプション** 八角塔観覧:1,200円(小学生以上)  
ガイドツアー:一般 500円  
小学生～大学生 250円



※詳しくは、赤れんが庁舎公式HPにてご確認ください。  
※チケット予約ページ、赤れんが庁舎のチケット売り場でお申し込みいただけます。

02

## 赤れんが庁舎の予約等について

イベント・会議・研修など様々な用途で赤れんが庁舎を利用できます。  
赤れんが庁舎公式HPから予約可能です。



赤れんが庁舎公式HP▶ <https://www.hokkaido-redbrick.jp>



03

## 赤れんが庁舎内に「KYUN CHAN SHOP」OPEN!!

7月25日(金)、赤れんが庁舎が約5年ぶりにリニューアルオープンするにあわせて、赤れんがショップ内にキュンちゃんの公式ショップがオープンしました! キュンちゃんの生みの親である絵本作家・そらさんにもご協力いただき、赤れんが庁舎をイメージした、落ち着きがありながらも可愛い空間が完成しました。

ショップ内には、ステッカーやクリアファイル、ぬいぐるみなど、多彩なアイテムが揃っており、癒されること間違いなしです! 皆さまぜひ、足をお運びください!!



キュンちゃんも  
お手伝いしたキュン



# 公益社団法人北海道観光機構 賛助会員募集

公益社団法人北海道観光機構は、北海道の観光振興推進の中核機能を担い、北海道内外の関係機関・団体・企業・地域の知恵と資源を結集した複合型の総合産業の創出による「観光立国北海道」の実現を図ることを目的として平成20年4月に設立されました。

当機構では、可能性あふれる北海道の観光産業の発展を目指し、先頭に立って関係企業の皆さまとの連携により、その役割を果たしていきたいと考えております。

何卒、当機構の活動、事業趣旨にご理解を賜り、是非、入会に向けてご検討いただきますようお願い申し上げます。

## 賛助会員

北海道観光機構の事業に賛助するため入会した個人又は団体

### ▶年会費について

1口1万円、6口6万円以上をお願いしております。  
各種特典が適用される【ブロンズ会員】以上をご検討ください。

### ▶会員サービスについて

各種プロモーションやキャンペーンの参加募集(一部対象制限有)、セミナー・研修会のご案内、統計調査結果、業界動向の情報を、会員サイトなどを通じてお届けします。

## 賛助会員のビジネス活動のサポート【基本特典】

- ▶各種誘客プロモーションへの参加
- ▶観光関連セミナー、研修会の実施
- ▶ビジネスマッチングの実施(会員の商談会など)
- ▶統計調査結果の提供(来道者調査・インバウンド調査・移動データなど)
- ▶フォトライブラリー(画像データ)の利用
- ▶事業公示情報のメール配信
- ▶広報誌「観光レポート」の定期配布、サイト掲載
- ▶会員サイトでの情報発信(各種お知らせ・観光情報)
- ▶キュンちゃんキャラクターデザインの無償提供

| 会員種別                                                                                                     | 会員特典                                                                                         |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
|  <b>ダイヤモンド会員</b> 100万円～ | 公式サイトバナー広告 公式SNS配信(6回) 観光振興・各種課題への取組支援<br>キュンちゃんのイベント派遣またはタイアップキャンペーン(2回) 観光セミナーなどへの講師派遣(3回) |
|  <b>プラチナ会員</b> 50万円     | 公式サイトバナー広告 公式SNS配信(3回) 観光セミナーなどへの講師派遣(2回)<br>キュンちゃんのイベント派遣またはタイアップキャンペーン(1回)                 |
|  <b>シルバー会員</b> 30万円   | 公式サイトバナー広告 公式SNS配信(1回) 観光セミナーなどへの講師派遣(1回)<br>キュンちゃんとタイアップキャンペーン(1回)                          |
|  <b>ブロンズ会員</b> 10万円   | 公式SNS配信(1回) 上記基本特典が適用                                                                        |
|  <b>一般会員</b> 6万円      | 上記基本特典が適用                                                                                    |

※すべての会員に基本特典が適用されます。公式SNS配信は、「X」または「Instagram」となります。

※公式サイトバナーについては、ダイヤモンド会員(1年)、プラチナ会員(6か月)、シルバー会員(3か月)トップページに掲載されます。

※キュンちゃんのイベント派遣については、出演スケジュール及び交通費・宿泊代・送料等別途相談させていただきます。

## 北海道の観光案内所



**どうさんこ旅サロン** 東京・東京交通会館3階

「どうさんこ旅サロン」は、「北海道どうさんこプラザ」(北海道のアンテナショップ)がある、東京交通会館の3階(札幌市東京事務所内)にあります。(JR有楽町駅下車すぐ)道内各地のパンフレットを取り揃えているほか、スタッフによる観光・イベント情報の案内や旅行相談も承っています。

住所／東京都千代田区有楽町  
2丁目10-1 東京交通会館3階  
営業時間／11:00～19:00  
定休日／土・日・祝、年末年始、  
施設的全館休業日  
問合せ／電話03-6206-3163



**北海道さっぽろ観光案内所**  
JR 札幌駅西コンコース北口

JR札幌駅の「北海道さっぽろ食と観光情報館」内にあり、専門のスタッフが日本語以外に、英語、中国語、韓国語で旅行相談に応じ、最新の観光情報を提供いたします。また、HTO作成のパンフレットのほか、会員施設のパンフレットが各種陳列されています。

住所／札幌市北区北6条西4丁目  
JR札幌駅西コンコース北口  
「北海道さっぽろ食と  
観光情報館」内  
営業時間／8:30～20:00  
※大晦日・元旦のみ19:00まで  
定休日／年中無休  
問合せ／電話011-213-5088

## まずはお気軽に お問い合わせください！

### ■賛助会員募集に関するお問い合わせ先

(公益社団法人北海道観光機構)  
総務部

### ■本レポートに関するお問い合わせ先

(公益社団法人北海道観光機構)  
マーケティング・DX部

〒060-0003  
札幌市中央区北3条西7丁目1番1 緑苑ビル1階  
TEL 011-231-0941 (平日:08:45～17:30)  
FAX 011-232-5064

## 会員募集中!

入会申込みの詳細は、  
お問い合わせください。



ジブン

# 地域で動かす、ふるさと納税。

インサイトは各地域の団体や企業様と連携した  
ふるさと納税運用を展開しています。

## Case ①

### 地域商社との連携

#### 北海道森町 様

町内出身者が立ち上げた地域商社「商舎」と連携し、  
森町ふるさと納税の寄附額を大きくアップ。



商舎

- 生産者窓口
- 出荷管理
- 問い合わせ



インサイト

- サイト管理
- マーケティング
- プロモーション

#### 北海道沼田町 様

ふるさと納税運用支援に加え、「地域商社まちづくりぬまた」が  
運営する様々な事業の最適化も支援。



まちづくりぬまた

- 商品開発
- 出荷
- 問い合わせ



インサイト

- サイト管理
- マーケティング
- 人材育成支援

## Case ②

### 観光協会との連携

#### 福井県越前市 様

地域団体の強みを生かし、インサイトが専門領域を担当。



越前市観光協会

- 生産者窓口
- 商品開発
- ページ登録



インサイト

- ページ改善
- マーケティング
- プロモーション

## Case ③

### 地域おこし協力隊の活用

#### 石川県加賀市 様

協力隊の採用支援から育成までをワンストップ対応。



加賀市地域おこし協力隊

- 生産者窓口
- 商品開発
- 地域勉強会



インサイト

- 現地オフィス
- 現地採用
- 人材育成

お気軽にご相談ください

北海道・東北エリアを中心に全国48自治体のふるさと納税を運用しております。



株式会社インサイト 担当: 神戸 (こうべ)

札幌市北区北8条西1丁目3番地 さつきた8・1 2F

TEL: 011-501-0015

MAIL: sales\_member@ppi.jp

